

令和 4 年度 事業計画

基本方針

岩手県民のウェルビーイングとレジリエンスの向上に寄与すべく、会員の資質向上と地域課題の解決に向けて取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症の影響は依然として続いているが、学びを止めることなく一人ひとりがキャリアアップしていくようオンラインを活用して距離や時間に制限されることがない研修体系を築いていく。

医療ソーシャルワーカーとして社会的役割を果たすべく、県内の医療ソーシャルワーカーと地域の課題を抽出していく。

今期、役員体制を一新する。今後はより会員同士の相互交流・相互理解やお互いを高めあえる関係性を構築できるよう、理事一丸となって取り組んでいく。

《総務部会》

部会員の役員会への出席会議録作成やウェブ開催時のホスト操作等、感染対策に配慮しつつ必要な運営を行いつつ、部会全体としての活動を活発なものにしていく。

1. 役員会：3 か月に 1 回程度開催する。

引き続き当面集合しての開催は必要最低限にとどめ、ZOOM でのオンラインを主体に開催していく。

2. 定例総会の準備

役員と連携し、以下の業務を行う。

- (1) 会場の確保、議案書及び開催案内等の作成・発送
- (2) 出席者（定数）等の把握
- (3) 会場設営、受付業務

3. 会員名簿等の管理

入・退会届、変更届及び専門部会の届出の処理を行う

4. 財務関連

- (1) 予算案及び決算書の作成
- (2) 活動費の出金・入金処理
- (3) 会費の徴収、督促等

なお感染症の影響により一定の活動制限が予測されることから
今年度の年会費も 7,000 円へ減額とする。

(4) 事務局手当の創設

これまで事務局では多額の活動費を個人で立て替えており、また年間を通しメールや諸団体への連絡調整等、業務時間外に行わなければならない作業が非常に多い。そこで 4 年に一度事務局が交代となる為、後任に快く引き受けてもらえるようにすることや、事務局の活動内容を鑑み、事務局長へ年 3 万円の手当を支給する。

5. 北海道・東北ブロック医療ソーシャルワーカー交流会 運営協力

- (1)日程：令和4年11月土曜日で日程調整中
- (2)主催である秋田県医療ソーシャルワーカー協会との連絡調整
- (3)開催周知や申込受付
- (4)適宜実行委員会の出席
- (5)事業に係る予算の出金・入金処理

6.関連諸団体との連携及び後援、協会の派遣

7.部会の開催

部会を適宜開催し、事務処理や財務処理に遅れのないよう活動する。

《広報部会》

ホームページ及びフェイスブックを活用した会員・非会員向けの情報発信を行う。他部会との連携により、情報の量、質の向上を図る。

部会員のレポート作成及びホームページへの掲載を実施する。

ZOOM を用いた部会の開催及び部会員の意見交換等を実施する。

1. ホームページ及び Facebook の研修案内、レポートの随時掲載
2. 会報第 51 号の発刊
3. 年 2 回の部会及び必要に応じ意見交換会の実施

活動計画一覧

広報媒体	内容	ターゲット	方法	発信時期
Facebook	研修案内、研修報告、ホームページの更新情報を掲載	会員・非会員	担当部会員が投稿	随時
ホームページ	役員会レポート	会員	広報部会理事が役員会参加時にレポートを作成	役員会開催後1週間以内
	研修会レポート	会員・非会員	広報部会員が研修会を取材しレポートを作成	研修会開催後1週間以内
	研修会案内	会員・非会員	担当部会員が掲載	年間予定決定直後 情報更新は随時
会報	第 51 号	会員・非会員	担当部会員で作成	令和 5 年 6 月頃

《教育研修部会》

令和4年度は新型コロナウイルス感染状況の先行きが不透明なことから、計画的に研修を実施するため全面的にオンライン研修とする。会員が主体的により多くの研修に参加し自己研鑽を積むことで県内の医療ソーシャルワーカーの資質向上とクライアントへの質の高い支援の提供につながることを目的とする。

研修項目はアンケート結果を踏まえ、会員の関心の高いテーマを研修として企画した。

開催方法は要望が多かったオンデマンドの実施により、会員が任意の時間・場所で受講できるようにする。

医療ソーシャルワーカー基礎研修を開催することで、初任者が実践に必要な視点・知識・技術の習得を目指していく。

1. 研修の開催

別紙「令和4年度研修案内」参照

2. 部会の開催

年1回以上開催する。

《調査研究部会》

現在の保健医療福祉の状況を踏まえ、クライアントや地域、会員の課題を把握し、課題解決に向けた協会活動の下地作りとなるよう調査を実施する。

1. 県内 MSW に関する実態調査

- ・ ソーシャルワーク実習受入アンケート

次年度実習受入調整に合わせ、秋に実施し、ホームページで公表

- ・ 座談会の開催による会員ニーズ調査

テーマ別；初任者編、機能別編・地域別編、リーダー編を夏、秋、冬で実施

- ・ 社会貢献事業に関する実態調査

身元保証に関する実態を把握し共有

- ・ 教育体制について情報収集

キャリアラダーについて導入状況を把握し今後の活用を検討

2. 外部からのアンケート調査や会議の対応

- ・ 都道府県協会社会貢献事業担当者会議など

3. 部会の開催

- ・ オンライン会議を2～3回開催

- ・ チャット、メールを活用し連絡・調整・打合せ